

# 全国ネット通信

## 全国ネット通信 2012 夏号 CONTENTS

あなたにとって、温暖化防止は、運動ですか、お仕事ですか？／川北秀人	1	平成24年度「うちエコ診断事業」始まる	2
『家庭で取組む 節電マニュアル』ができました！	3	低炭素杯2013のお知らせ	3
地球温暖化防止展に出展しました	4	第5回「3R・低炭素社会検定」首都圏における試験業務の実施のお知らせ	4
櫻田彩子のミニコラム	4	編集後記	4

## あなたにとって、温暖化防止は、運動ですか、お仕事ですか？

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表  
川北秀人



42年ぶりにすべての原発が止まった夏。さて、みなさん、例年よりあわただしく、市民や企業や行政に、省エネの働きかけをしてらっしゃいますよね？だって、このまま火力発電所の稼働率が上がると、CO<sub>2</sub>排出量も、当然増える。気候変動や温暖化の防止を本気で進めるなら、市民や企業や行政に、例年以上の省エネのヒントや事例を紹介する機会を自ら仕掛け、その現場を担う人たちの持つノウハウやスキルをメディアや業界団体などに売り込んでいくのが、温暖化防止「活動推進」センターの役割ですよね？

こういう憎まれ口をたたきたくないのは、みなさんが動いていないからではなく、その動きを誰にどう効果的に届けるのか、という観点から、十分でないと感じるからです。

冒頭の問いを、もう一度。あなたにとって、温暖化防止は、社会を変える意思を実践に結びつけるための運動ですか、それとも、誰かに頼まれたことを、頼まれた範囲内だけやるお仕事でしょうか？

ここ数年、各地のセンターの方々のお話を伺っていると、行政からの委託や補助の枠内だけでとらえて、「これ以上はできない」とか「難しい」と口にされる方が多いのが気になります。もちろん、行政からの委託のためだけに、お仕事として、特段の意思なく、温暖化防止にかかわっていらっしゃるなら、それは仕方ないことかもしれません。しかし、県・市センターを受託されていらっしゃる団体のみなさんには、団体の定款の冒頭にある、団体自身の目的を、もういちど、じっくり読み返していただきたいのです。

そこにはきっと、地域の環境保全や持続可能な発展など、自分たち自身が「こういう社会の実現をめざしたい！」という意思のある言葉が並んでいることでしょう。その実現の手段の一つとして、行政からの委託や補助を受けていらっしゃるはずですが。

僕にとって気候変動の防止は、本誌をお読みの多くの方々と同じように、運動であり、その実現のためにお仕事にしています。だからこそ、例年より踏み込んだ省エネ提案を、大企業の経営者や調達・購買の責任者の方々にお伝えしています。

みなさんにとっても、そして日本という国にとっても、今年からの数年間は、気候変動（温暖化）防止と、省エネと、負荷の小さい再生可能エネルギーへのシフトを、同時に伝え、しかも実践しなきゃいけない、とっても重要な時期。いわば、来訪や相談を待つ受動的なセンターから、提案と協働を徹底する積極的なセンターへと、生まれ変われるかどうかの勝負のときです。

もちろん、センターの職員さんたちだけで、できるはずはありません。こんな時のための推進員さんたちであり、また、環境カウンセラーさんや、他の専門家や有資格者の方々にもご協力いただき、特に夏のピーク対応を控えた中小企業や商店、農林水産業、福祉施設や学校など、みなさんの近くで事業を営んでいらっしゃるすべての事業体に、省エネ&ピーク節電の訪問チェックを働きかける絶好機ですよね？

その対象は、町内会や商店街など、小さな地域の集まりでも構いません。私たちにはずでに、1000件を超える多様ですばらしい各地の事例が、「一村一品」から低炭素杯にかけて蓄積されているからです。紹介や相談がバンバンくる営業担当者に共通するのは、じっと待ってるんじゃなく、まず相手に訪問して、現場で相手と話す中から、本当に必要なことに一緒に気づき、その解決策を提案・提供し、それに感動してくださった顧客が、「どうせ頼むんならあの人にしたら」と、口コミで抜けてくださること。どんなサービスも、温暖化防止も省エネも、本当に必要とする人のところに足を運ぶ人だからこそ、信頼・共感していただけるのです。

低炭素杯といえば、今年も準備が始まりました。みなさんにはまた、お力添えをいただきますが、どうかよろしく願いいたします。来年も2月中旬に開催されますが、その時期を選んだ理由は、必ず今年度中に、地域からのエントリーや各地のすばらしい事例などをとりまとめ、共有する機会を設けていただきたいからです。

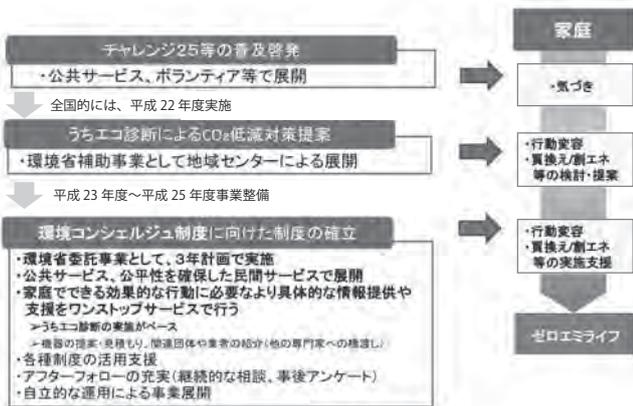
この正念場。「あのとき、推進員さんやセンターに協力してもらって助かった！」と言ってもらえる事業所や家庭をどれだけ増やせるかに、ぜひ、さらに踏み込んでください。

# 平成 24 年度「うちエコ診断事業」始まる



うちエコ診断の新しいロゴマーク ▶ うちエコ診断

環境省では、環境コンシェルジュ制度の創設に向けて、下図に示すような3年間の基盤整備事業を推進しています。全国ネットでは、この事業としての初年度事業にあたる平成23年度うちエコ診断事業(以下、昨年度事業)を受託したことを、全国ネット通信(春号)でご報告させていただきました。平成24年度においても環境省委託業務として引き続きうちエコ診断事業(以下、本年度事業)を実施することとなりました。



して、自治体との連携や協議会を構成した実施が試行されます。

また、(6)の民間企業等による実施においても、自社サービスの一環として組み込んだうちエコ診断の実施が試行され、自立化を意識した形式でうちエコ診断が実施されます。

また、本年度事業より環境コンシェルジュ制度に向けたサービス試行実施として、本年度事業に参加いただく民間企業等(5)のスキームの協議会メンバー(含む)に限って、商品紹介や見積もり等の自社サービスとの連携を試行します。これにより、受診家庭に対して提案させていただいた削減対策をより実施していただきやすくなるのが期待されます。

その際には、うちエコ診断の中立性を担保したうえで、消費者トラブルの低減のためのルール作り及びその遵守、個人情報管理の適切な管理を実施していくことは言うまでもありません。

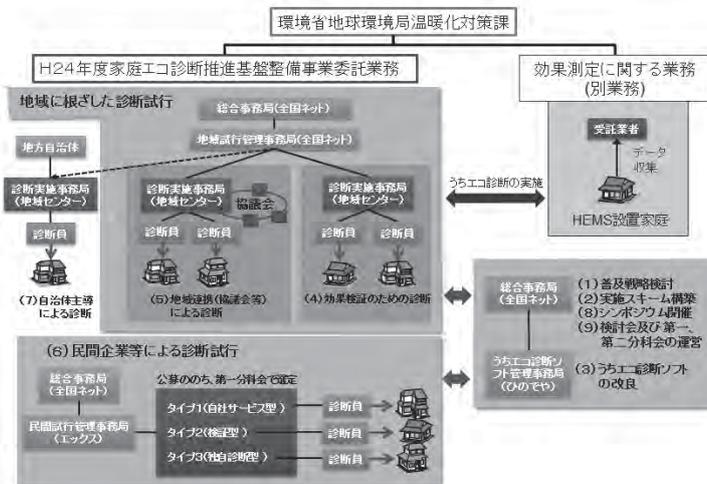
このように、環境コンシェルジュ制度に向けた様々な試行を実施しながら、うちエコ診断を多様な診断実施スキームで実施し、より多くのご家庭にうちエコ診断を受診していただき、家庭部門の温室効果ガスの削減に今後も取り組んでいきたいと考えています。

是非とも、お近くの地域センターへお問合せの上、うちエコ診断を受診していただければと思います。

昨年度事業では、全国展開の可能性を検証することを主眼に実施しましたが、本年度事業では、環境コンシェルジュ制度の基盤となるうちエコ診断事業の自立化と、提案対策の実施支援のための商品紹介等サービスとの連携に向けた試行・検証が事業の目的となっています。本号では、この本年度事業の概要についてご紹介させていただきます。

まず、本年度事業における主要な業務構成【(1)~(9)の9業務】を下図に示します。

▼うちエコ診断公式リーフレット



これら9業務のうち、(4)~(7)の4業務において、うちエコ診断を実施します。この中の、(4)(5)(7)の地域センターを中心とする地域に根ざした診断スキームでは、地域における診断事業の自立化を目指



# 「家庭で取組む 節電マニュアル」ができました！

## 節電<節エネ=節CO<sub>2</sub>

今年の夏と冬は、全国的に電力需給が厳しい状況が続きそうです。そのため、家庭の取組みを一層充実させるために「家庭で取組む 節電マニュアル」を作成しました。

昨年は、東日本大震災の影響による夏期の電力不足への「節電共同行動」の一環として「家庭版 どうする？ どうやる？ 節電せいかつ」を発行しました。また、冬期版として「家庭ですぐ出来る冬の節CO<sub>2</sub>マニュアル」を発行しました。

「家庭で取組む 節電マニュアル」は、夏期・冬期を合わせ、通年で活用できるものにしました。

節電マニュアルは、震災を契機に取り組んでいる“節電”行動と地球温暖化対策は密接な関係があること、家庭における電力使用などのエネルギーの使われ方の特徴、そして家庭で取組む具体的な方法（夏の準備、夏の対策、冬の対策）を記述しています。

### 入手方法

#### 1. 全国ネットホームページからのダウンロード

[http://www.jccca.org/about/works/setumannual\\_2012.html](http://www.jccca.org/about/works/setumannual_2012.html)

#### 2. 小冊子が必要な方は全国ネットにお問い合わせ下さい

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット TEL.03-6273-7785



楽しい！  
我慢しない！  
無理しない！

### 「家庭で取組む 節電マニュアル」の内容

1. 家庭での取組み
2. 日本の電力需給の状況
3. 家庭でのエネルギーの使われ方とCO<sub>2</sub>の排出
4. HOW TO 一家庭で何をどのように取組むか？
5. ちょっとかしこい、ちょっとお得な情報
6. 熱中症とヒートショックに注意しよう
7. もっと詳しく知りたいときのホームページ一覧

## 低炭素杯 2013 のお知らせ

各地で活動する学校・有志・NPO・企業などの方々の優れた活動を、発信し、様々な方々と交流を深め、学び合い、連携の輪を広げる「低炭素杯2013」を、2013年2月16日、17日に東京ビッグサイトの国際会議場で開催します。

詳細は、今後開催する「低炭素杯2013実行委員会」で決定しますが、現在予定しているスケジュールは右の通りです。

このスケジュールを参考に、「未来に向けて低炭素な社会をつくるために活動」に取り組んでいる各地の方々、ぜひエントリーしてください。

なお、低炭素杯のホームページの、「プレゼンを動画で見る」サイトで、当日のエントリー団体の発表の様子を掲載しました。ぜひ、ご覧になって下さい。

### 日程

2013年2月16日(土) 17日(日)

場所 東京ビッグサイト会議棟  
(国際会議場)



### エントリー団体募集スケジュール(予定)

8月	ウェブ公開と環境省記者発表 エントリー募集開始
9月	
10月	エントリー募集メ切
11月	エントリー団体とりまとめ
12月	実行委員会団体選考後 出場可否の通知連絡
2014年 1月	出場団体との連絡調整
2月	低炭素杯2013当日
3月	低炭素杯2013のホームページで プレゼンテーションなどを紹介

## 低炭素杯 ロゴマーク 募集

今後の「低炭素杯」開催にあたり、新たに作成するプレミアムな「低炭素杯」のロゴマークを広く募集しています。

応募資格 不問  
応募締切 2012年7月31日(必着)  
賞金 最優秀賞1点5万円  
応募規定 所定の応募用紙に、作品と必要事項を記載のうえ、デジタルデータを添えて応募先に郵送。

詳しくは全国ネットホームページ  
<http://www.zenkoku-net.org/>

## 地球温暖化防止展に出展しました 5月22日～25日 東京ビッグサイトにて

自然エネルギーや省エネ、CO<sub>2</sub>排出削減などの技術が一堂に会した「地球温暖化防止展」が5月22日から4日間開催されました。出展数595社、来場者数累計約16万人が集まる中、全国ネットも出展しました。多くの方に来場いただき非常に盛況でした。

ブースでは訪れる来場者に、地球温暖化防止に関わるリーフレットをお渡ししました。

来場者はリーフレットのいったエコバッグや、間伐材のペーパーウェイトを受け取ることをきっかけに、パネルを熱心に読んで頂きました。スタッフに多くの質問がありました。また、来場した各地域センターの方々からもお声をいただき、パネルを見ながら語り合える場となりました。

結果、最新の節電マニュアルを1,100冊ほど配布することができ、全国ネットの広報活動としてとても充実した出展となりました。



▲「地球温暖化防止展」全国ネットブースの様子

### 編集後記

昨今の今頃は、東日本大震災の影響で、福島第一原発だけでなく、東京電力・東北電力管内の多くの火力発電所も止まりました。東日本大震災という未曾有の災害に、私たちは、気持ちを一つにして節電に取り組みました。

あれから1年が経ち、6月1日現在、原子力発電所はすべて停止の状態となっています。今年は全国的に電力不足の状態となり、家庭での節電が夏の電力対策の中で重要度が増しています。「家庭で取組む節電マニュアル」は5月中に何とか完成することができました。ぜひご活用を！

総務企画グループ 廣瀬健二

賛助会員  
募集中!

一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの活動をサポートしてください！  
年会費：個人会員 1口 5,000円（1口以上） 団体会員 1口 20,000円（1口以上）



### 編集・発行

一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町9-17 神田第三中央ビル5F

TEL. 03-6273-7785 FAX. 03-5280-8100 WEB. <http://www.zenkoku-net.org/>

## 第5回「3R・低炭素社会検定」 首都圏における試験業務実施のお知らせ

全国ネットは平成24年度から、3R・低炭素社会に関する知識を広め、ライフスタイルの見直しと行動変容を促進するため、「3R・低炭素社会検定実行委員会」が主催する「3R・低炭素社会検定」の首都圏での試験業務・試験対策講習会を実施することとなりました。

試験日 2013年1月14日(月・祝日)  
受験申請 2012年10月1日(月)～11月10日(土)予定  
受験方法 ①3R部門、低炭素社会部門のどちらか1部門を受験  
②3R部門と低炭素社会部門2部門を受験  
対象範囲 【3R部門】家庭・職場でのごみ削減・適正処理の知恵やそれを支える技術・制度など  
【低炭素社会部門】世界における温暖化の実態や、家庭・職場・社会における省エネの取組みなど  
試験会場 関東地区東京会場ほか全国各地  
詳しくはホームページまで  
<http://www.zenkoku-net.org/topics/topic120509.php>

### 「3R・低炭素社会検定公式テキスト」 全国ネットでも販売しています

「持続可能な社会の構築に向けて」「3R分野」「低炭素社会分野」で構成。最新のデータから、主要な法律、歴史的な流れ、家庭における取組みやライフスタイルまで、幅広く網羅！

3,200円〔税込・送料別〕



エコアナウンサー

## 櫻田彩子の ミニコラム

AYAKO SAKURADA PROFILE

宮城県出身。テレビ朝日「ゆうゆう散歩」レポーターほか、低炭素杯2012の司会進行など



私も  
賛助会員  
です!

先日、コーディネーターをさせて頂いたシンポジウムでのこと。エネルギーとこれからの地球環境を考える議論で、環境経営の専門家の方が、「節電はもう一つの電力」という。一方、気候変動リスク研究の専門家の方は「人類は既に温暖化のリスクから逃げられない」という。今の私達にとって、エネルギー問題は、生き方を変えるチャンスであり、産業革命ならぬエコ革命で新しい文明を築くチャンスだ。それと並行して、それらの技術を形にする時間を節電などで乗り切る必要があるのではないかと。私達は選択をせずに先へは進めない。何をリスクとして許容するのかしないのか。今夏の節電が選択できるリスクの一つなら、楽しみに変えて乗り越えて行きたい!と思う。



▲糠漬けで夏バテ知らず